

地震その時10のポイント

大きく揺れた時の行動

グラツときたら身の安全

大きな揺れを感じたら、まず身の安全を図り、揺れがおさまるまで様子を見る。



地震時及び直後の行動

すばやい消火 火の始末

火を消す3度のチャンス

- 1 小さな揺れを感じた時
- 2 大きな揺れがおさまった時
- 3 出火した時



あわてた行動 けがのもと

屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。



窓や戸を開け 出口を確保

小さな揺れるとき又は揺れがおさまったときに、避難できるよう出口を確保する。



落下物 あわてて外に 飛び出さない

瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので注意する。



門や塀には 近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



地震後の行動

正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って 救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に 安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。



※常時確認できる場所に保管して下さい。

東京消防庁・(財)東京連合防火協会
E100 再生紙使用・環境にやさしい大豆油インキを使用しています